

さいくうあと通信

発行 明和町 齋宮跡・文化観光課
 (三重県多気郡明和町大字馬之上 945 番地)
 電話：0596-52-7126 FAX：0596-52-7133
 E-mail：saikuuato@town.mie-meiwa.lg.jp

いつきのみや地域交流センターが完成しました!

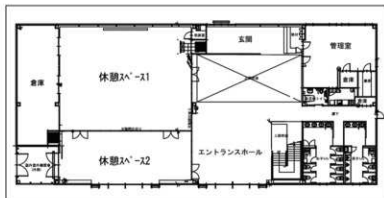
3月19日に、いつきのみや地域交流センターの竣工式が開催されました。4月1日以降、地元での利活用だけでなく、齋宮跡への来訪者のおもてなしの拠点としてオープンします。



この施設には、お土産などの物販スペースや、最大 300 名ほどが収容できるスペースがあり講演会やさまざまな会議などに利用いただけます。また、入口には齋王まつりで使用している齋王の乗る「葱華輦そうかれん」が展示され、齋宮を訪れた方にご覧いただけるほか、2階には屋外テラスがあり、広大な齋宮跡の眺めを楽しんでいただけます。



2階からの眺め



1階平面図

- 1: エントランスホールに展示の葱華輦
- 2: 増淵教授 (京都橘大学) による記念講演
- 3: 休憩スペースには 300 人程度が入れます
- 4: 「齋王の舞」による竣工式記念の舞

安養寺の文化財が 三重県の有形文化財に指定されました!!

上野の安養寺が所蔵する明和町指定文化財「仏通禪師所用法衣並びに什物」について、平成 29 年 2 月 2 日に三重県指定文化財への新指定が決定されました。平成 29 年 2 月 17 日、三重県庁にて山口千代己教育長より指定書が交付されました。

ぶつうぜんじしよほうえ でんらいじゅうもつ
「**仏通禪師所用法衣並びに伝来什物**」

三重県指定有形文化財 (工芸品)

- | | | | |
|---------|------|---------|----|
| しちじょうけさ | 一領 | じきとつ | 二領 |
| ・七条袈裟 | | ・直綴 | |
| ずだぶくる | 一口 | えしやくじょう | 一柄 |
| ・頭陀袋 | | ・柄錫杖 | |
| かみそりばこ | 一合 | かみそり | 二口 |
| ・剃刀箱 | | 並びに 剃刀 | |
| はつう | さじ | すじ | |
| 附 鉢盂 | 五口、匙 | 一口、筋 | 一對 |

平成 29 年 2 月 2 日指定



※今回指定された文化財の一般公開は文化財の保護の為、行っておりません。

特に注目！ 七条袈裟

袈裟の生地には中国 (南宋) から伝わったものを用いており、鎌倉時代までさかのぼるものです。県指定の染織品としては県内最古級の資料で、学術的・文化的な価値が極めて高い、第一級資料です。



<縁部分>
尾長鳥の文様が見られます



<環部分>
緑漆で花唐草を表現

仏通禪師と安養寺

安養寺は臨済宗東福寺派に属し、永仁 5 年 (1297) に癡兀大恵 (諡号：仏通禪師) によって開山されました。今回指定された品々は、仏通禪師の所有と伝えられるものです。仏通禪師は伊勢国出身で、比叡山で学んだ後、東福寺開山の円爾えんにの門人となり、応長元年 (1311) に東福寺第 9 世住持となりました。正和元年 (1312) に安養寺で亡くなったと伝えられています。



安養寺境内、開山堂の癡兀大恵像